

ROTOBO

Connecting Markets

## ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2024年(令和6年)5月25日号 No.1958

## 目次

■ 第5期プーチン体制始動	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2024年6月号のご紹介	15
■ トピックス	16
中ロ首脳が共同宣言／16	
米NZ豪英、対ロ制裁を拡大／16	
モルドバ、EU加盟を巡り10月に国民投票／16	
ロシアの裁判所、独銀行の資産の差し押さえ命令／16	
EU、ロシア凍結資産活用で合意／16	
プーチン大統領、ロシアにある米資産を活用可能に／17	
H&K、ウズベクに事務所を開設／17	
日本政府、ロシアに追加制裁／17	

## 第5期プーチン体制始動

## —ミシュスチン続投と国家目標達成に向けた布陣—

(一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 主任  
中馬 瑞貴

## はじめに

5月7日に行われた就任式で5期目をスタートさせたヴラジーミル・プーチン大統領は、9日にミハイル・ミシュスチンを首相候補として連邦下院に提案、翌10日に承認され、同氏の首相続投が決まった。そして11日に出された「連邦執行権力機関の構造に関する大統領令」によって、10人の副首相、21の省、18の連邦庁(Federal Agencies)、30の連邦局(Federal Services)などからなる政府機構が確定すると、同日にミシュスチン首相が新しい政府閣僚(副首相および大臣)の人事案を連邦下院に提出。連邦下院が10人の副首相を13日、16人の大臣を翌14日にそれぞれ承認した。

さらにプーチン大統領は、5月12日にニコライ・パトルシェフ国家安全保障会議書記を解任し、セルゲイ・ショイグ国防大臣を後任に任命。国防大臣を含む、大統領直轄の外務、内務、非常事態、司法5省の大臣および直轄局長官候補については連邦上院による協議を経て任命された。14日には「大統領府指導部の任命についての大統領令」にも署名した。

こうして5月14日、「政府閣僚および局長官の任命についての大統領令」が発効。プーチン大統領とミシュスチン首相による第5期プーチン政権下の新体制が本格的に始動した。今回の速報では、政府閣僚および大統領府の人事に着目して、第2期プーチン・ミシュスチン体制について整理する。